

令和元年度（2019年度）第2回知床世界自然遺産地域連絡会議

(意見書)

団体機関名：釧路自然環境事務所

職 氏 名：所長 田邊 仁

ご意見・ご質問

送付資料の内容については、意見等ありません。

平成30年度第2回地域連絡会議にて斜里町からのご発言もありましたが、今後の会議運営について、行政からの報告内容だけでなく、地域関係者が発信しやすいような議事内容についてご検討をお願いします。

団体機関名：斜里町

職 氏 名：

1 ヒグマ対策について

- ・釣り客、カメラマン等、法律による縛りも必要となっていることから、法的ルール等も含めて対応を考えていくことが必要。
- ・また、ヒグマ渋滞に関連し、様々な会議でマイカー規制等のご意見もあることから、事故等が起きる前に、国、北海道としてもしっかりとした対応を検討していくことが必要。
- ・人側の基本的な行動を変えていくため、色々な方法を使って絶え間なく情報提供をしていくことが必要。

2 知床五湖の利用調整地区について

- ・知床五湖の冬期利用については、現在、エコツアーで利用を行っているが、冬期以外は利用調整地区として国のルールの中で実施していることから、冬期期間についても利用調整地区制度としてルールを定めていただきたい。

3 幌別地区の再整備計画の策定について

- ・幌別地区の再整備計画の策定に向けて検討していることから、環境省、林野庁、北海道へも今後、計画策定に向けて事業への協力、支援等いただきたい。
- ・また、整備に向けた各種交付金等での支援や情報提供をいただきたい。

4 知床五湖水道の更新について

- ・五湖水道については、五湖 FH を含めて知床五湖園地内の各施設を運営していくうえで無くてはならない施設となっている。水道施設も古くなっていることから、今後、五湖水道をどう確保していくか、長期的な面で課題がある。
- ・五湖水道自体は斜里町管理としているが、環境省でも、使える交付金や施設整備に合わせた対応など、検討していただきたい。